

各事業の報告

1 「食べ残しゼロ推進店舗」が1,300店舗突破！（p4広報資料）

本来食べられるはずの食品が、店舗や家庭で捨てられることなく、すべて食べられる「食べ残しゼロ」を目指して、様々な工夫や努力を行っている事業者を本市が認定し、その取組を広く発信するとともに、市民にも「食べ残しゼロ」への理解を呼び掛けることで、市民・事業者と本市が一体となって食品ロス削減の実践の輪の拡大を図っている。

これまで多くの飲食店・宿泊施設に賛同いただいているほか、平成30年9月からは、新たに食品小売店の認定をスタートしており、平成30年度末には、「食べ残しゼロ推進店舗」の認定店舗数が1,312店舗に拡大、同様の取組を実施している政令市の中で最大規模となった。

- ・ 飲食店・宿泊施設版：1,009店舗（31年3月末時点）
- ・ 食品小売店版：303店舗（31年3月末時点）

(参考)「食べ残しゼロ推進店舗（飲食店・宿泊施設版）」(1,009店舗)の取組内容

認定店は、申請時に実践する取組内容(以下の①～⑧)を2項目以上選択し、実践する。

	取組内容	取組の例	実施店舗数	実施率
1	食材を使い切る工夫	無駄のない仕入れ, 余った食材をまかないに利用 等	947	93.9%
2	食べ残しを出さない工夫	小盛り・ハーフサイズメニューの設定 等	759	75.2%
3	宴会, 冠婚葬祭での食事等における工夫	30・10(サーティ・テン)運動 等	194	19.2%
4	食べ残しの持ち帰りができる工夫	持ち帰り可能な店内案内 等	599	59.4%
5	ごみ排出時の水キリ等の工夫	水切り専用ザル 等	755	74.8%
6	使い捨て商品の使用を抑える工夫	マイ箸・マイボトルの持参を推奨 等	505	50.0%
7	食べ残しゼロに向けた啓発活動	POPやポスターの掲示 等	104	10.3%
8	上記以外の食べ残し減量のための工夫	料理を丁寧に説明, 安全な食材を使用, 1日100食限定(売り切り) 等	121	12.0%
			3,984 (重複を除く店舗:1,009)	

2 環境にやさしい「京都エコ修学旅行」参加校の募集について（p 7 広報資料）

修学旅行で本市に宿泊する学校を対象に、

- ①歯ブラシの持参
- ②エコバッグを携帯し、レジ袋や紙袋を辞退
- ③食事はできるだけ食べきり

の3つの取組を実践していただく学校を募集し、エコバッグを配布している。

（平成28年度から実施）

【平成30年度参加実績】

参加校の属性	参加校数 (カッコ内は29年度)	エコ・アクション+1 参加校 (カッコ内は29年度)	エコバッグ配布枚数 (カッコ内は29年度)
小学校	120校 (148校)	25校 (19校)	8,011枚 (9,905枚)
中学校	101校 (82校)	35校 (18校)	10,607枚 (9,753枚)
高等学校	9校 (3校)	4校 (1校)	1,552枚 (408枚)
特別支援学校	1校 (0校)	0校 (0校)	23枚 (0校)
計	231校 (233校)	64校 (38校)	20,193枚 (20,066枚)

【今年度参加状況（5月31日時点）】

- 応募学校数
162校
内訳 小学校 70校, 中学校 92校
- エコバック配布枚数（配布予定含む。）
14,824枚

※今年度から、対象期間を拡大し、春出発の学校も参加対象とした。

3 大学生・ごみ減量サポーター事業 intras（イントラス）大募集！！（p 11 広報資料）

本市では、大学生がSNSを活用し、自ら実践した日常生活における2Rや分別の取組内容を広く発信することで、同世代の若者のごみ減量、分別・リサイクル意識の向上ごみ減量行動の実践・定着を図る「大学生・ごみ減量サポーター事業」を昨年度から実施している。

大学生が楽しみながら活動できるよう、「いいね！」の数をベースに算出した得点をチーム単位で競い合う「チーム対抗戦」の仕組みを採用し、最終的に上位チームを表彰するほか、今年度は新たに、得点の高低にかかわらず、投稿の内容が優れていたチームを別途表彰する。

なお、京都外国語大学、京都精華大学、京都大学、京都府立大学、同志社大学、龍谷大学（五十音順）の6大学が本事業への参加を予定している。

(参考) 昨年度実績

【平成30年度参加大学及び順位等】

参加大学名 (括弧内はチーム名)	順位	「いいね！」数	投稿数
京都橘大学 (eco tachi)	1	7, 804	82
同志社大学 (政策学部小谷ゼミ)	2	7, 785	82
京都経済短期大学 (軽担じゃぱん)	3	4, 338	82
佛教大学 (地球ラブズ)	4	4, 267	82
大谷大学 (山好きな者達)	5	1, 365	82
京都産業大学 (まつたか)	6	1, 314	82
京都美術工芸大学 (分別戦隊分けるンジャー)	7	206	22
合計	—	27, 079	514

※「いいね！」数、投稿数はInstagramとtwitterを足したもの

【平成30年度投稿例】

食品ロス削減を促す内容 (京都橘大学)



10月は
京都市食品ロス削減月間ということで、
エコタチメンバーも
キャベツを使った
使い切りクッキングに参加してきました！
1個のキャベツも工夫したら
こんなにムダなく沢山食べれるんやね！

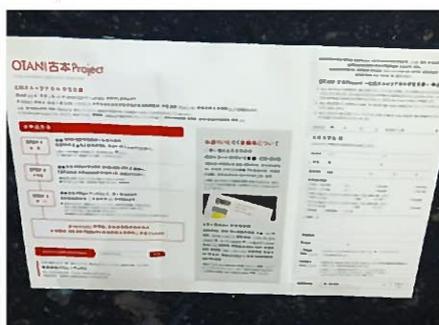
美味しくいただきました！🍴

プラスチックごみ削減を促す内容 (同志社大学)



gomi_supporter7 日本唯一の蜜蝋ラップメーカー
—“acowrap”🐄で蜜蝋ラップ🍯を買ってみたよ。普段、
使い捨てしているラップはプラスチック製品⚠️蜜蝋ベー
スのホホバオイルをオーガニックコットンの生地にも染み込
ませた天然ラップなら、洗って何度でも使えます。普通の
ラップよりエコ！野菜🍅やパン🍞を包むだけでなく、お
かずの残ったお皿にもしっかり密着！抗菌機能もあるの
で、食品の鮮度も保てます！
身近なところからごみを出さない暮らし！プラごみ減！考
えてみませんか？

紙ごみ削減を促す内容 (大谷大学)



gomi_supporter6 大谷大学では、OTANI古本Projectと
いう活動を行なってます。
内容は、読み終えた書籍等を大学に寄付し、新たな本を買
うための資金にするものです。
本を燃えるゴミで処分するのはもったいない。ぜひ、皆さ
んもご協力お願いします！！

(広報資料)



令和元年5月29日
京都市環境政策局
〔担当 循環型社会推進部ごみ減量推進課〕
TEL 213-4930

「食べ残しゼロ推進店舗」が1,300店舗突破！

このステッカーが目印！



本市では、平成26年12月から、飲食店・宿泊施設における食べ残しや手つかず食品といった「食品ロス」の削減をはじめとするごみ減量の取組を実践する店舗を「食べ残しゼロ推進店舗」として認定し、市民や事業者の皆様のごみ減量の機運を醸成する取組を実施しています。

これまで多くの飲食店・宿泊施設に賛同いただいているほか、平成30年9月からは、新たに食品小売店の認定をスタートしており、平成30年度末には、「食べ残しゼロ推進店舗」の認定店舗数が1,312店舗に拡大しましたので、お知らせします。これは、同様の取組を実施している政令市の中で最大規模です。

認定店舗では、仕入れ、調理、販売、消費の工程で、様々な工夫や努力を実行していただくことで食品ロス等の削減が進むとともに、市民の皆様が認定店舗を御利用いただく機会が増えることで、食品ロス削減等を意識したライフスタイルへの転換が進むよう、「食べ残しゼロ推進店舗」の更なる拡大、認知度の向上に向けて、引き続き、取組を進めてまいります。

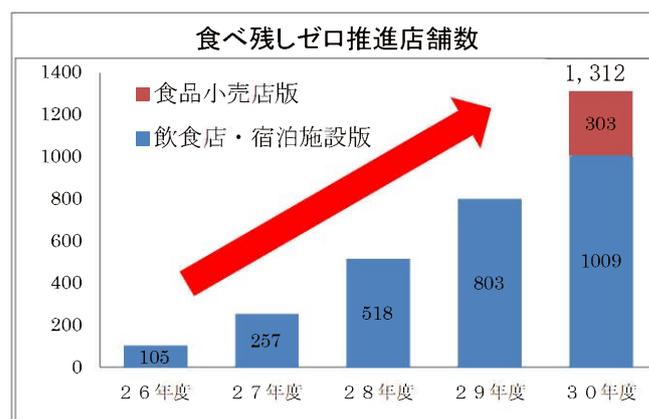
なお、事業者の皆様につきましては、随時、「食べ残しゼロ推進店舗」を募集していますので、ぜひ御応募ください！

(応募方法等は、ホームページ「京都生ごみスッキリ情報館 (<http://sukkiri-kyoto.com>)」を御参照ください。)

1 認定店舗数

1,312店舗 (平成31年3月末現在)

〔 飲食店・宿泊施設版 1,009店舗
食品小売店版 303店舗 〕



2 認定店舗の内訳

【飲食店・宿泊施設版】

ジャンル	店舗数	ジャンル	店舗数
和食・定食	143	居酒屋	100
洋食	109	お好み焼き	41
中華	64	アジア料理	28
うどん・そば	50	カフェ・喫茶	296
すし	22	ハンバーガー	51
ラーメン	41	その他	40
焼肉	6	宿泊施設	18
		計	1,009

【食品小売店版】

ジャンル	店舗数	ジャンル	店舗数
スーパーマーケット	128	酒	4
精肉・鶏肉	16	コンビニエンスストア	1
青果・鮮魚	38	ドラッグストア	2
ベーカリー	15	その他	65
和菓子・洋菓子	34	計	303

3 「食べ残しゼロ推進店舗」について

(1) 認定制度の概要

	飲食店・宿泊施設版	食品小売店版
制度開始	平成26年12月	平成30年9月
対象事業者	飲食店, 宿泊施設	食品小売店
取組内容	「生ごみ3キリ運動」(食材の使いキリ, 食べキリ, 生ごみの水キリ)に関する取組の推進など	食品ロス(手つかず食品や食べ残し)の発生抑制に関する取組の推進など
認定ステッカーデザイン		

(2) 認定店舗の取組内容

以下の8つの取組のうち、2つ以上を実践する店舗を「食べ残しゼロ推進店舗」として認定しています。

【飲食店・宿泊施設版】

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| ① 食材を使い切る工夫 | … 無駄のない仕入れ、余った食材をまかないに利用 等 |
| ② 食べ残しを出さない工夫 | … 小盛り・ハーフサイズメニューの設定 等 |
| ③ 宴会、冠婚葬祭での食事等における工夫 | … 30・10(サーティ・テン)運動 ^(※) 等 |
| ④ 食べ残しの持ち帰りができる工夫 | … 持ち帰り可能な店内案内 等 |
| ⑤ ごみ排出時の水キリ等の工夫 | … 水切り専用ザル 等 |
| ⑥ 使い捨て商品の使用を抑える工夫 | … マイ箸・マイボトルの持参を推奨 等 |
| ⑦ 食べ残しゼロに向けた啓発活動 | … POP やポスターの掲示 等 |
| ⑧ 上記以外の食べ残し減量のための工夫 | |

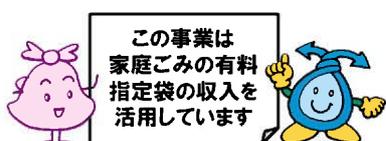
【食品小売店版】

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| ① 店頭での手つかず食品（賞味・消費期限切れ食品）の削減につながる取組 | … 食料品の見切り販売の実施 等 |
| ② 家庭での食べキリ・使いキリにつながる取組 | … 少量パック、ばら売り、量り売り 等 |
| ③ 惣菜等の製造・調理段階での取組 | … 食材の使いキリ、ごみ排出時の水キリ 等 |
| ④ イートインコーナー等での飲食に関する取組 | … 食べ残し、飲み残しのない利用の呼び掛け 等 |
| ⑤ 食品ロス削減に関する自社の取組についてのPRや社内での情報共有 | … 自社HP等での食品ロス削減に関する取組のPR 等 |
| ⑥ フードバンク活動等への支援 | … 余剰食品等のフードバンク等への提供 等 |
| ⑦ 食品リサイクルの推進 | … 飼料化などによる食品リサイクルの実践 等 |
| ⑧ 上記以外で食品ロスを減らすための取組 | |

(※)「30・10(サーティ・テン)運動」

「食べ残しゼロ」を推進するため、①宴会等での乾杯後30分間は、席を立たずに料理を楽しみ、②宴会終了前10分間は、自分の席に戻って再度料理を楽しむように呼びかけることで、宴会における食べ残しを減らす取組です。

食べる量は十人十色です。体調や状況等に合わせて御協力をお願いします。



平成31年度版



対象期間を拡大！春出発の学校も参加いただけます♪

環境にやさしい『京都エコ修学旅行』参加校の募集について

～学校独自でアイデアを出し、修学旅行中に取り組んでいただく
“エコ・アクション+1”への、皆様の挑戦をお待ちしています！～

京都市では、京都議定書誕生の地として、「しまつのこころ」「もったいない」といった環境にやさしいライフ・ビジネススタイルの定着を目指すため、観光客の皆様にもごみの減量や分別に御協力いただいています。

この度、この取組の一環として実施している、環境にやさしい「京都エコ修学旅行」に、春出発の学校の皆様にも参加していただけるよう今年度から対象期間を拡大し、下記のとおり募集しますので、お知らせします。

また、学校独自でエコな取組を設定・実践いただく「エコ・アクション+1（プラスワン）」の参加校で優秀な取組を実施した学校は、表彰のうえ、記念品を贈呈します。

記

1 応募の対象

(1) 京都エコ修学旅行には、以下のアとイのどちらにも該当する学校が学校単位で御応募いただけます。

ア 2019年5月15日～2020年3月31日に、修学旅行で京都市内に宿泊する学校

イ 修学旅行中に、次の3点を実践していただける学校

- ① 歯ブラシを持参し、宿泊施設の使い捨て歯ブラシを使わないこと
- ② エコバッグを携帯し、買い物時にレジ袋や紙袋はもらわず、できるだけ簡易に包装された商品を購入すること
- ③ 宿泊先で出された食事をできるだけ食べきり、食べ残しを出さないこと

平成31年3月27日
京都市環境政策局

〔担当：循環型社会推進部ごみ減量推進課〕
〔電話：075-213-4930〕

「3つの取組」へのご参加で
京都市オリジナルのエコバッグを進呈！



両面
デザイン

3つの取組

- 1 歯ブラシの持参・使用
- 2 京都市オリジナルエコバッグでお買い物
- 3 食事の食べきり、食べ残しゼロ

(2) 「エコ・アクション+1 (プラスワン)」にも御応募いただけるのは、以下のア～ウのすべてに該当する学校です。

ア 2019年5月15日から12月31日までに修学旅行で京都市内に宿泊される学校

イ (1)イの3点に加えて、修学旅行において、独自のエコな取組の実施を宣言し、実践していただける学校

ウ 修学旅行実施後、2020年1月7日(火)までに実施報告書を本市に提出していただける学校

2 応募方法

1 (1)イの3点を実践していただける旨を記載した環境にやさしい「京都エコ修学旅行」宣言書を学校単位で1枚、ファックス又はメールにて御応募ください。

また、「エコ・アクション+1」にも応募される場合は、同宣言書の所定欄に必要事項を御記入ください。

※ 修学旅行のおおよそ2週間前までに御応募ください。

※ 環境にやさしい「京都エコ修学旅行」宣言書のデータは、京都市ごみ減量・分別リサイクル総合情報サイト「京都ごみネット」(<http://kyoto-kogomi.net/>) からダウンロードできます(トップページの「新着のお知らせ」を御覧ください)。

The infographic is divided into two main columns. The left column is titled '京都エコ修学旅行' (Kyoto Eco School Trip) and the right column is titled 'エコ・アクション+1' (Eco Action +1) with 'プラスワン' (Plus One) written above it. A red arrow points from the left column to the right, with the text 'さらにプラスワン!' (Even more Plus One!).

京都エコ修学旅行

実践内容

期間内に修学旅行で京都市内の旅館等に宿泊し、滞在中に以下の**3つの取組**を実践

- 1 歯ブラシを持参し、宿泊施設の使い捨て歯ブラシを使わない。
- 2 エコバッグを携帯し、買い物時にレジ袋や紙袋はもらわず、できるだけ簡易に包装された商品を購入する。
- 3 出された食事はできるだけ食べきり、食べ残しを出さない。

期間

2019.5.15 ~ 2020.3.31

エコバッグを提供 先着2万枚

エコ・アクション+1

実践内容

京都エコ修学旅行の3つの取組に加えて、**独自のエコな取組を宣言し、その取組を実践**

※ 報告書を期限(2020.1.7)までに提出してください。

期間

2019.5.15 ~ 2019.12.31

平成30年度に取り組んでいただいた事例

- ・お土産用小分け袋の提供の辞退
- ・旅館での清掃活動や観光地でのごみ拾い等

優秀校を表彰・記念品の贈呈

3 受付期間

2019年3月27日（水）～2020年3月16日（月）

（「エコ・アクション+1」への応募は、2019年12月31日（火）まで）

※ エコバッグの数に限りがあるため、御応募いただいても提供できない場合があります（先着順で2万枚）。エコバッグの配布終了については、京都市ごみ減量・分別リサイクル総合情報サイト「京都ごみネット」にてお知らせします。

4 「エコ・アクション+1」優秀校の決定

「エコ・アクション+1」参加校から提出された実施報告書を審査し優秀校を決定します。優秀校には、表彰状と記念品を贈呈します。



5 応募及び問合せ先

京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課（事業ごみ減量担当）

〒604-0924 京都市中京区河原町二条下る一之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル8F

TEL:075-366-5090 FAX:075-213-0453

メールアドレス：gomigenryo@city.kyoto.lg.jp

京都エコ修学旅行「アクション+1」

大野高優秀賞に輝く

洋野

京都市を訪れる修学旅行生が、ごみの減量につながる環境にやさしい行動を推進する「京都エコ修学旅行」（京都市主催）で、岩手県立大野高が、独自の取り組みを実施した「エコ・アクション+1」（プラスワン）の優秀賞に初めて選ばれた。見学先の神社仏閣の取り組みを調査し、まとめたことなどが評価された。生徒は活動を通じ、「ごみの分別や減量について意識するきっかけになった」と話している。（田中周菜）

京都エコ修学旅行は2016年度の食の食べきりーの3点を実践年度に始まり、旅行中に▽歯ブラシ、歯磨き粉を宣言した学校にエコラシ持参▽エコバッグの携帯▽エコバッグを提供。かつ、独自のアクション



「京都エコ修学旅行」の「エコ・アクション+1」で優秀賞に輝いた大野高生

神社仏閣での環境配慮の取り組み調査

アイデアで、優秀な取り組みを実施した学校を表彰している。本年度はエコ修学旅行に小中高約230校が参加。そのうち、エコ・アクション+1に応募した計64校から優秀賞7校が選出された。

同校は、昨年11月末に2年生28人が修学旅行で京都市を訪れた。事前の学習で同市のごみの分別方法を学んだほか、自主研修として、見学先となった神社仏閣で、環境に配慮したそれぞれの取り組みを聞き取り調査した。旅行後は、ごみ箱の設置や、お守りのひもの再利用など、それぞれが聞き取った内容をレポートにまとめた。

小村知佳さん(17)と塩倉早紀さん(17)はそれぞれ、「観光地ならではの工夫が街全体で見られた。参考になる活動が多くあった」「ごみ分別の地元との違いなどを学び、家庭でも意識するようになった」と、エコ活動に関心を高めた様子だった。



令和元年5月29日
京都市環境政策局
〔担当 循環型社会推進部ごみ減量推進課〕
TEL 213-4930

大学生・ごみ減量サポーター事業

学生サポーター改め、
おしゃれに「intras」!

intras (イントラス) 大募集!!

～楽しみながらごみ減量の輪を広げよう～

京都市では、大学生*¹がSNS*²を活用し、自ら実践した日常生活における2R*³や分別の取組内容を広く発信することで、同世代の若者のごみ減量、分別・リサイクル意識の向上やごみ減量行動の実践・定着を図る「大学生・ごみ減量サポーター事業」を昨年度から実施しています。

この度、本事業の担い手となる大学生を募集しますので、お知らせします。

なお、情報発信の担い手となる大学生の皆さんには、ごみの問題に対する堅いイメージを変え、若者の前向きな取組を導くインストラクターのような存在になっていただきたいという意味を込めて、昨年度の“学生サポーター”の名称を改め、“intras (イントラス)”と名付けました (instructor of trash-free society)。

※1 短期大学生，大学院生，専門学校生を含みます。

※2 本事業では，Instagram と twitter を使用します。

※3 必要以上にごみになるものを作らない・買わない「Reduce リデュース」と繰り返し使う「Reuse リユース」の2つの言葉の頭文字をとって2Rと呼びます。

1 本事業について

intras はチーム単位で活動します。

また、皆さんが楽しみながら活動できるよう「チーム対抗戦」の仕組みを採用しています。

具体的には、チームで投稿内容を考え、定期的に発信し、「いいね!」の数をベースに算出した得点を他のチームと競います。

最終結果に基づき、上位チームを表彰するほか、今年度は新たに、優れた内容の投稿を行ったチームについても表彰します。

こうした仕組みを採用することで、より高い共感を得るための創意工夫や、啓発効果の高い投稿を期待しています。



2 応募条件

同一の学校で3～5名を1組（チーム）として応募してください。

なお、各チームは以下の条件を全て満たしている必要があります。

- ・チームの全員が、京都市内の大学、大学院、短期大学又は専門学校に通学する現役の学生であり、かつ応募締切日時時点で30歳未満であること
- ・チーム内に京都市内に居住する方が1名以上いること（自治体によってごみの分別のルールが異なるため）

3 募集人数

30名（7チーム）程度

※ 応募者（チーム）多数の場合は、本市が選考し、任命する学生（チーム）を決定します。

4 活動期間

任命を受けた日から令和2年3月下旬まで

5 募集期間

令和元年5月29日（水）から同年6月21日（金）まで

6 活動スケジュール

6月下旬～7月上旬	選考・任命式・オリエンテーション後、活動開始
随時	ワークショップ（使い切りクッキング体験等を3回程度実施）を開催、活動へのサポート
令和2年3月下旬	修了式及び表彰式

7 応募方法

以下のURLから応募フォームへ必要事項を記入のうえ、送信ください。

公式サイトURL

<http://kyoto-kogomi.net/intras/>

8 問合せ先

京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課2R（にあり）推進担当（柿倉，小野）

電話：075-213-4930

e-mail：gomigenryo@city.kyoto.lg.jp

